

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	室内空気質小委員会	主 査 名：柳 宇 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：持田 灯
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・室内空気中の化学物質のほか、微生物、臭気、アレルギーなど室内空気汚染物質全般について、新しい情報を収集する。 ・CO₂濃度を始めとする空気質設計法及び測定法の基準を提案する。 ・居住者のための空気質設計指針を提案する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：柳宇 (工学院大学) 幹事：鍵直樹 (東京工業大学) 委員：東賢一 (近畿大学), 木村洋 (長谷工コーポレーション), 齊藤智 (竹中工務店), 武廣絵里子 (鹿島建設), 高塚威 (新日本空調), 竹村明久 (摂南大学), 長谷川麻子 (熊本大学), 光田恵 (大同大学), 村上栄造 (朝日工業社), 野崎淳夫 (東北文化学園大学), 山口一 (清水建設), 湯懐鵬 (新菱冷熱工業), 四本瑞世 (大林組)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄装置による室内空気質改善の評価方法検討 WG：空気清浄機の性能評価手法の情報収集 ・微小粒子状物質検討 WG：室内の微小粒子に関する情報収集 ・臭気に関する学会環境基準検討 WG：学会基準の改定に関する検討 ・室内オゾン WG：室内におけるオゾンに関する検討 	
2015 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価	
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1.	
講習会	1.	参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1.	参加者数 名
	2.	参加者数 名
大会研究集会	1.	参加者数 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1.	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 空気シンポジウムの企画・運営を行った 2. 来年度大会の OS の企画を行った。 3.	
委員会活動の問題点 ・課題	1. 地方から来られる方の旅費の工面。 2. 3.	

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> Ⓐ B C D </div>
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>建築物における環境衛生管理基準にある二酸化炭素の 1000 ppm について特に議論を行った。本小委員会においては、特に民間からの会員増強に力を入れており、現場における声の情報交換、新たな分野の情報共有を目指し、活動を行ってきた。上記の問題についても、現場の意見を参考にすることができ、有意義な検討を行うことができた。その成果を今年度の空気シンポジウムにおいて、室内空気質の立場より、講演内容及び講演者について提案を行い、多くの参加者を集め、有効な議論を行うことができた。また、傘下の WG においては微小粒子の現状、健康影響に関する知見、臭気的环境基準に関する検討、室内オゾンに関する課題、空気清浄装置の性能表示のあり方など、それぞれの WG において議論することができた。その成果に基づいて、来年度の OS においては、室内微粒子に関する内容について、提案を行った。</p> <p>来年度以降の活動については、今年度に引き続き、新たに屋外で注目されている PM_{2.5} について室内環境での状況調査及び室内オゾン、空気清浄装置について検討を行うと共に、臭気に関する学会基準の改定について議論を行う。更には、来年度大会で開催される OS について企画立案を行っており、本小委員会で議論した内容を基に構成する予定である。</p> <p>以上より、本小委員会における本年の活動については、十分な成果が得られたものと言える。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。